

# 長野県SDGs推進企業登録証



長野県SDGs推進企業として登録し、ここに証します。

登録事業者：齋藤木材工業株式会社

登録期：第1期

登録番号：50

登録期間： 2019年 7月 26日から 2022年 7月 25日まで

2019年 7月 26日

長野県知事

阿部 奇一



[長野県は「SDGs未来都市」です]



長野県SDGs推進企業登録マーク



しあわせ  
信州

この登録証は、県庁内の使用済みの古紙を使用して作成しました。

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

2019 年 6 月 27 日

住 所 長野県小県郡長和町古町 4294  
企業名 齋藤木材工業株式会社  
代表者 齋藤 健

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

弊社の経営方針は SDGs の達成に貢献していきます。

- ・信用誠実を第一とし顧客に喜ばれる良い製品を提供し事業の発展を通じて社会の繁栄に寄与する。
- ・再生できる資源である木材、緑豊かな山を次の世代に繋ぐための森林サイクルを実現する。
- ・木材の価値を高め、特殊技術を保有した小さな大企業として 100 年企業を目指そう、そして働き甲斐を持ち生活の基盤を確実にしよう。

3 側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>登録年月日:</small>
環境 社会 経済	木造建築物に地域産木材を供給することにより CO <sub>2</sub> の固定 地球温暖化の防止	CO <sub>2</sub> 固定量 2019 年 700t-CO <sub>2</sub> 2030 年 1000t-CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub> の固定量を年一回 HP で公表 5%UP(2019-2020)
環境 社会 経済	地域産材を活用した耐火集成材製品の製造量の増加	耐火集成材製品製造量 2019 年 200m <sup>3</sup> 2030 年 500m <sup>3</sup>	耐火集成材製造量を年一回 HP で公表 25%UP(2019-2020)
環境 社会 経済	社会の安心安全を守るため、JAS 認証や SGEC 認証等の制度に遵守する	認証製品出荷割合 2019 年 100% 2030 年 100%	認証製品出荷割合を年一回 HP で公表 100%維持(2019-2020)

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第 3 号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件 2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の 3 側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年 1 回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。



(様式第3号)

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件 2)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
公正な事業慣行	19	<input type="checkbox"/> 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・カタログ、HP等各種媒体を通じ開示している										12.6																
	20	<input type="checkbox"/> 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・丸太製材、木材加工で排出される木くずを木材乾燥のバイオ燃料として使用している								7.2					13													
	21	<input type="checkbox"/> 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・グリーン購入法、合法木材、SGEC、FSC、信州木材製品認証を通じ、原料の使用に努め、トレーサビリティを確立している												12.2	13	14	15											
	22	<input type="checkbox"/> 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職、贈収賄に関与無き様、就業規則に規定し社内周知している																							16	16.5		
	23	<input type="checkbox"/> 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為に関与無き様、就業規則に規定し社内周知している																								16		
	24	<input type="checkbox"/> 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、実用新案、商標等知的財産権の取得、管理をしている											8.2		9													
	25	<input type="checkbox"/> 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・ネット環境から切り離れた専用PCで取扱管理者を決め、個人に関わる情報を管理している																								16		
製品・サービス	26	<input type="checkbox"/> 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物の使用や取扱はしないことを確認している																							16			
	27	<input type="checkbox"/> 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・反社会的勢力との関係排除を社内周知している ・(予定) 供給者の評価、選定基準を作成する						5				8			10		12	13	14	15	16	17						
	28	<input type="checkbox"/> 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品の仕様、使用環境条件をJAS認証ラベル等で開示している ・日本集成材共済会の「構造用集成材瑕疵担保保証制度」に加入している									3.9							12.4										
	29	<input type="checkbox"/> 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・木材、木材製品の品質管理、品質保証制度の認証、認定を取得し品質保証の仕組みを構築している															9											
	30	<input type="checkbox"/> 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・木質材の適材適所使用や木質構造の設計協力に取り組んでいる ・丸太製材、木材加工で排出される木屑を木材乾燥の燃料として使用、また端材をチップ加工し再利用している								6									12	13	14	15						
社会貢献・地域貢献	31	<input type="checkbox"/> 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・2010年の公共建築物等における木造利用促進に関する法律成立から、鋼材内蔵型耐火集成材及び燃え止まり型耐火集成材を開発し、木造化が難しい都市部や高層建築の木造化を実用化し、国産材の利用率向上に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
	32	<input type="checkbox"/> 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域の建設業振興会、商工会、防犯協会、職業安定協会等に加盟し「地域いきいき券」の取扱店もしている ・国産材・地域材利用向上に向け、積極的に工場見学を受け入れている					4							9				11	12			14	15				17	
	33	<input type="checkbox"/> 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域のボランティア清掃や祭り事等に参加や各種関連団体への協賛、寄付を行っている ・地域の消防団協力事業所表示制度に加入している ・植樹祭等地域材の育林事業に協力し、地域材の有効利用に貢献している					4													11				14	15			17
	34	<input type="checkbox"/> 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・創業以来、地域の唐松材有効利用に努め、全国に信州唐松を使った製品の販促を推進している ・信州唐松を使った耐火集成材を開発し、木造化が難しい都市部や高層建築の木造化を実用化し、国産材、地域材の利用率向上に取り組んでいる ・信州木材製品認証工場の認証を取得している ・国有林分収育林事業の名誉オーナー認定を取得している												8	9				11	12	13							

## SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																	
35	<input type="checkbox"/>	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念・方針を明文化し社内外に示している。 ・毎月、安全、品質、経営目標を示し、全事業所に掲示し共有している																8	9											17						
36	<input type="checkbox"/>	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・掲示板・社内集会等で法令遵守(コンプライアンス)の重要性を全社員に示している ・建築基準法、消防法、労基法等の法改正情報を入手し法令遵守する体制を整備している																												16						
37	<input type="checkbox"/>	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・各事業所に所属長、担当責任者を配置している ・総務が中心となり組織体制整備をしている																												16						
組織体制	<input type="checkbox"/>	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・経営者が直接ステークホルダーと対話し、具体的な対応に努めている																												16	17					
	<input type="checkbox"/>	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・接着剤、塗料、潤滑油、燃料等の使用量を管理し、人体、環境へのリスクアセスメントを行っている ・労働環境に対しリスクアセスメントを行い、適切な対策を講じている																												16						
	<input type="checkbox"/>	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・規格、基準、法令を遵守し企業活動に責任を持って取り組んでいる																													16					
41	<input type="checkbox"/>	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・(予定)BCP(事業継続計画)を策定する																												9	11	13 13.1			16	
42	<input type="checkbox"/>	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補がいる (予定)後継者育成計画を検討し作成する																													8	9				17